

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2015
January

1

No.94



中村学園創立60周年記念式典(平成26年11月7日)



〔特集1〕中村学園創立60周年記念式典・祝賀会開催

〔特集2〕第48回 霜月祭



「第1回 チャレンジ!糖尿病いきいきコンテスト」朝食献立部門優秀賞受賞学生
 坂本 美来さん(左) 佐藤 聖也さん(中) 江川 祐衣さん(右)
 中村学園大学 栄養科学部1年生 中村学園大学 栄養科学部1年生 中村学園大学 栄養科学部1年生

経験、知識、全てが不足していたが挑戦したかった

Q 今回のコンテストに参加することになったきっかけは？

大部先生の「管理栄養士入門」の授業で、先生が「糖尿病のレシピコンテストがあるから、誰か挑戦してみない？」と声を掛けてくださったのがきっかけです。すぐに先生に相談し、人数が多い方が良いとアドバイスを受けて、同じ弓道部の仲良し3名でグループを結成しました。エントリーは7月が締め切りで、入学して4カ月ほどの頃でした。私たちは全員まだ料理が得意と言えるレベルではなかったですし、糖尿病の知識も浅かったのですが、私たちの参加をご存知だった三堂先生から「挑戦することは良いことだよ。分からないことは協力するから」という言葉をいただき、3名でコンテストに向けて挑戦することになりました。

Q 部門が3つある中で、朝食部門にエントリーした理由は？

朝食献立部門、お弁当部門、主菜部門がありましたがお弁当部門は品数が多いため難しいと思い、今回は断念しました。朝食ならば汁三菜の定食を食育館で食べているのでイメージもつきやすいと考え、朝食献立部門を選びました。あ

全国大会で見事に優秀賞を受賞した3人にインタビューしました。



PICKLESメンバー

インタビュー 広報アシスタント 月原 早耶香
 中村学園大学 教育学部2年生

私がインタビューした3名は、昨年の10月に東京で開催された公益社団法人日本糖尿病協会主催「第1回 チャレンジ!糖尿病いきいきレシピコンテスト」の朝食献立部門で見事に優秀賞を受賞した、栄養科学部1年生のグループです。

このコンテストは、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発活動における新たな取り組みとして、栄養士・管理栄養士を目指す全国の学生を対象に初めて開催されたものです。受賞した3名は本学に入学してまだ数カ月の1年生ですが、先輩の学生たちに負けない糖尿病レシピを考案してコンテストに挑戦しました。

まだまだ努力を積み重ねて 次回のコンテストにも挑戦したい

Q 受賞が決まった時の心境はどうでしたか？

「中村学園大学」と呼ばれた時には、まさか私たちがと、感激のあまりその瞬間のことをよく覚えていないくらいです。大部先生と三堂先生のご指導、そして家族のサポートがあったからこそこの賞なので、福岡に良い知らせを持って帰ることができると感じました。喧嘩をしつつも、3人で力を合わせてレシピ開発をしたことなどを思い出しながら、優秀賞受賞の発表があつて壇上に上がった時には、もう涙が出ました。本当にここまでやってきて良かったと思いました。

Q 10月下旬のコンテスト以降、自分の中で何か変化はありましたか？

私たちは3人とも家でもあまり料理をする方ではなかったのですが、大学の調理実習では火元には立たずに材料を切ったりすることがほとんどでしたが、コンテストで賞を取ってから

CONTENTS

01

チャレンジするナカムラ生
 「第1回 チャレンジ!糖尿病いきいきコンテスト」朝食献立部門優秀賞受賞学生

03

【特集1】
 中村学園創立60周年
 記念式典・祝賀会開催
 60周年記念事業紹介

05

【特集2】
 第48回 霜月祭

07

活躍する卒業生

08

平成27年度
 入試結果&お知らせ

ともう一つ、ということで福岡の食べ物を生かすことができるという点で、主業部門（Bコース）地産地消の食材を使うという自慢のおかずコースを選び、2部門にエントリーしました。主業部門の方は残念ながら、最終審査に進むことができなかったのですが、朝食部門では、最終審査まで進むことができました。

Q 朝食部門で二次審査を通過したときの感想は？

一次審査は書類審査で、9月に審査結果の発表がありました。119件の応募の中から12組が選ばれ、東京で行われる実技審査へと進むことができましたが、12組に選ばれた時は、まず驚きました。同時に、選ばれたからには優秀賞を取るために頑張ろうという気持ちがより強くなりました。

Q 最終審査で10月に東京に行かれた時はいかがでしたか？

とにかく東京に行けることが嬉しくて、観光場所をたくさん決めていました（笑）。しかし、実際に行ってみると、会場の下見に行かないといけなかったり、ホテルに荷物を置かないといけなかったり、また、料理で使うおきゅうとや生海苔は、九州の物を持参していたため、冷蔵庫にすぐ入れないといけないなど、結局観光はできませんでした。初めて乗ったモノレールに興奮したぐらいで（笑）。でも、今では全てがよい思い出です。

Q 本番の最終審査での調理は、どうでしたか？

いつもの調理実習の授業と違い、四方八方から常に視線を感じながらの調理で、参加者に比べ審査員の先生がとても多く、ガチガチに緊張していました。制限時間が30分だったのですが、本番は10分くらいに感じた程度です。

Q 糖尿病レシピを作るうえで、苦労したことは何ですか？

糖尿病の料理は食塩量にも気を遣わなければならないため、食感などで食べる方が満足できる料理を作ることがとても難しかったです。審査員には実際に糖尿病の方や医師もいらしたため、細かい作業にまで気を配りました。先生や両親からのアドバイス



多くの審査員の視線を感じながら最終審査で調理する3名。「とても緊張しましたが、集中して調理できました」とのこと。

は、もう少しできるのではないかと前向きな気持ちになり、自ら火元に立つて積極的に調理実習に臨むようになりました。そういう意味では、完全に意識が変わりました。私たち全員が料理に対して自信が持てるようになったと思います。

Q 最後に、今後の目標は？

何よりも調理の腕をもっと磨きたいです。表彰式の最後に、審査員の方から「調理の腕も見たけれどみんなまだまだ磨く必要がある。盛り付け方も料理の彩りもさらに勉強の必要がある」と指摘を受けました。私たち自身、もっと努力が必要です。コンテストは受賞しましたが、ここからがスタートだと思っています。まだ1年生で習得することが数多くあるので、調理実習の授業をはじめ全ての授業に集中して学び、これからも頑張っていきたいです。

そして、今回のコンテストにもまた挑戦したいと考えています。今回は洋風でしたので、次回は中華にしようかなと考えたり、想像が膨らみます。次は、ぜひとも最優秀賞を狙いたいです。

■ インタビューを終えて

3名は1年生ながら挑戦し、そして優秀賞を取るといふ素晴らしい実績を残しました。また知識が豊富ではないのにもかかわらず、挑戦したいという強い意志にとっても感銘を受けました。

私は来年度3年生となり、大学生活の折り返し地点となります。これまでの2年間失敗を恐れて挑戦することのできなかったことがいくつかあります。失敗を恐れず挑戦することの大切さを気づかせてくれた3名のように、私も残りの大学生活を充実させたいです。



表彰式を終えたあと、審査員の方々と記念撮影。多くの人のサポートがあったからこそ栄えある賞を受賞できたと実感。



受賞作「洋風爽やか彩りモーニングセット」
食感と見た目にも工夫を凝らした糖尿病レシピ。3名曰く、「一汁三菜は和風ですけど、そこを洋風にして意外性を持たせたかった。健康者の方も美味しいと思えるような料理に仕上がったと思っています」。

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】2015.1 January No.94



09 わがゼミ案内

流通科学部 流通科学科
木下 和也ゼミ

10 クラブ&サークル

薬膳・食育ボランティア同好会

11 学生企画 PICKLES

これが中村生の実態ダツ!!!

13 栄養教育及び研究の
グローバル発信

14 EVENT and NEWS

・学内外のイベント
・学生、教員表彰 他



中村学園創立60周年記念式典・祝賀会開催

平成26年11月7日「ホテルニューオータニ博多」

中村学園は、平成26(2014)年に創立60

周年を迎え、その記念事業の一つである記念式典並びに祝賀会を平成26年11月7日、ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区)で開催しました。記念式典には、教職員OBや教育及び政財界関係者、中村学園の学生・生徒、現任教職員ら約1,100名が出席しました。開式に先立ち、60周年記念DVDの上映と学園祖中村ハル先生が発案し、当時の学生・生徒と愛唱していた「日の丸の歌」が披露されました。式典では、中村量二理事長が学園の歴史を振り返るとともに「終生現役の教育者であり続けた学園祖中村ハル先生の信念を受け継ぎ、人間教育を基本としながら教育研究に優れた魅力ある学園づくりに努める」と力強い式辞を述べられ、続いて福岡県知事の小川 洋氏、日本私立大学協会会長大沼 淳氏(代理)、同協会九州支部副支部長中山峰男氏)よりご祝辞を賜りました。次に学生・生徒を代表して、中村学園大学・中村学園大学短期大学部、学友自治会会長の片山今日子さん、中村学園三陽高等学校生徒会会長の小野塚真洗さんがお祝いのことばを述べました。また、親子代々学びたい学園づくりを目指す本学園において、これまでに親子・子孫三代において本学園で学ばれた11組の方々の表彰が行われました。

記念式典後に開催された祝賀会には、約

600名の来賓をお迎えし、中村学園大学・

中村学園大学短期大学部 甲斐 諭学長の挨拶に引き続き、福岡空港ビルディング株式会社代表取締役社長(前福岡県知事)麻生渡氏よりご祝辞を賜りました。そして福岡県私学協会会長 新田光之助氏による乾杯で祝宴に入りました。和やかな雰囲気の中、祝いの歓談が広がるとともに、中村学園の学生・生徒の部活動である和太鼓部(大学・短期大学部)、箏曲部(女子中高校)及び生徒会応援団(三陽中・高校)によるアトラクションも披露されました。特に生徒会応援団は、今回の60周年を記念して完成したばかりの大団旗のお披露目も行い、盛大な拍手が送られました。最後に、学園を代表して中村学園事業部末松祐而事業理事が謝辞を述べ、「祝いめでした」を株式会社西日本シティ銀行 取締役副頭取 磯山誠二氏、宮崎宮 権宮司 田村邦明氏、そして株式会社ニューオータニ九州 代表取締役社長 山本圭介氏にリードしていただき、祝賀会は盛会のうちに閉幕になりました。

創立60周年記念式典・祝賀会は、中村学園が創設以来、多くの方々に支えられてきたからこそ今日があることにあらためて感謝するとともに、本学園が引き続き果たすべき使命の大きさを認識を教職員が共有し、さらなる飛躍を目指す意義深い機会となりました。



第41回公開講座

『スマートエイジングー楽しく歳をとる秘訣とは』

公開講座は地域との共生という観点から、大学開放活動の一環として市民の方々に本学の教育研究の成果を還元し、交流を深める目的で毎年、開催されています。第41回目を迎える今年度は、中村学園60周年記念事業の一つとして『スマートエイジングー楽しく歳をとる秘訣とは』を統一テーマに左記の内容でA～Eの5つのコース(5日間計8講座)で開催し、延べ734名が参加されました。

各コースの内容については、本学ホームページに開催報告記事を掲載しています。



プログラム

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

■ 開講式(挨拶)

学長 甲斐 諭

■ Aコース 平成26年10月4日(土)

スマートエイジングのための生活スタイル
ーがんと老化を防ぐ生活習慣ー

栄養科学部 教授 中野 修治

スマートエイジングのためのエクササイズ

教育学部 准教授 中野 裕史 栄養科学部 講師 熊原 秀晃

■ Bコース 平成26年11月1日(土)

お口の健康でスマートエイジングを始めましょう

福岡歯科大学 口腔歯学部総合歯科学講座 高齢者歯科学分野 助教 牧野 路子

健やかに生きるヒント

ー食べることは生きること、食事の基本について考えるー

短期大学部食物栄養学科 准教授 森脇 千夏

■ Cコース 平成26年11月8日(土)

こころの健康

ーやる気と生きがいの心理学ー

教育学部 教授 針塚 進

スマートエイジングのための心とからだのセルフケア

ー食事とストレス、免疫との関係ー

栄養科学部 准教授 大和 孝子

■ Dコース 平成26年11月22日(土)

地産地消

ー郷土料理は健康料理(調理デモンストレーション)ー

短期大学部食物栄養学科 教授 松隈 紀生

■ Eコース 平成26年12月13日(土)

調理のススメ

ー調理の習慣は健康の鍵(調理デモンストレーション)ー

栄養科学部 准教授 三堂 徳孝

中村学園60年史制作

このたび、中村学園の歴史を記す史書として編纂、発行し、本学園の歴史を共有するとともに、学園祖中村ハル先生の教育理念・理想を後世に引き継ぐために60年史を制作しました。デジタルブック版を本学ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



NAKAMURAキャンパスアートマップ

中村学園大学のキャンパス内には、卒業記念品として贈られた絵画やキャンパスアメンティの二環としての彫刻作品などが、多く所蔵・設置されています。これらはキャンパスを視覚的に彩るだけでなく、教育環境にふさわしい文化的で豊かな空間を演出しています。そこで今回、中村学園60周年記念事業の一つとして、教育学部幼児保育学科美術部門の教員で「NAKAMURA キャンパスアートマップ」を制作しました。日頃、目に触れていてもあまり意識されることのないアート・工芸作品にスポットを当て、学生・教職員、来訪者の皆さまに広く情報を提供することが目的です。より多くの方に興味・関心を持って鑑賞していただくきっかけとなることを願っています。



第19回 国営海の中道海浜公園リレーマラソン参加

11月23日、福岡市東区(海の中道海浜公園)にて開催された「第19回国営海の中道海浜公園リレーマラソン」に、学校法人中村学園60周年記念事業として中村学園大学と中村学園三陽高等学校の学生・生徒らが参加しました。リレーマラソンとは、1チーム最大10名が1周2kmのコースを棒で繋いでフルマラソンの42.195kmを完走するものです。

学校法人中村学園として7チーム、総勢65名全員が無事に完走することができました。

走り終えた高校生からは「仲間の団結力が増して良い所を見つけたことができた」、「皆の努力の結晶である棒の重さを知った」といった感想が聞かれました。大学生からは「応援や労いの言葉に仲間の大切さを感じた」、「将来教壇に立った時にこの経験を伝えたい」と将来の教員生活に係る感想もあり、中村学園60周年を記念するに相応しい一日となりました。



NAKAMURA パワー全開!

48th

霜月祭

10/31 Fri

11/1 Sat

2 Sun

昨秋、本学の学生・教職員、地域の方々、そして来場される方々全てを繋ぐという想いと、学園のこれまでの歴史を繋ぐという想いが込められた「中村学園60周年 繋(つなぐ)」これまで、そして、これからは「を」をテーマに学園祭「霜月祭」が開催されました。

期間中はあいにくの雨模様でしたが、学園祭実行委員の努力の甲斐あって、各種イベントはどれも楽しさ満載。大いに盛り上がった3日間となりました。



SHIMOTSUKI Festa 2014



私たちPICKLES(ピクルス)メンバーが模擬店・フードバザーを取材しました!



流通科学部 2年生
大津 涼太郎 さん



流通科学部 4年生
高木 良輔 さん

さまざまな味が楽しめる模擬店がところ狭しと出店され、どのお店も賑わっていました。

1 ユースホステル クラブ

【綿菓子】



ユースホステルクラブは綿菓子を出店しました。シンデレラの衣装なども功を奏し、3日間通して子どもたちが長蛇の列を作っていました。

ユースホステルクラブは一言で言えば旅行サークルだそうです。

2 木下ゼミ

【たこ焼き・クレープ等】



木下ゼミはみんなお揃いの「きののびー」Tシャツを着て、たこ焼き・クレープ・ライスコロッケを販売しました。流通科学部のゼミでは珍しい出店で、木下先生は自ら走って商品補充を行っていました。

※木下ゼミについては、P.9で紹介しています。

第32回 ミスキャンパスコンテスト Miss Campus Contest



▲美女が登場するたびに、会場の体育館は華やかな雰囲気になりました。



▲ミスキャンパスに選ばれた辻千恵さん

毎年恒例のミスキャンパスコンテスト。今年は8名の美女たちがエントリーして、それぞれの美しさと個性を競いました。企画審査を経て、最終審査は定番のウエディングドレス。8名それぞれがチヨイスしたお気に入りのドレスで登場すると、場内からは大きな歓声が起こりました。見事ミスキャンパスに輝いたのは辻千恵さん(流通科学部3年生)。辻さんは「自分が選ばれると思っていなかったので、とても嬉しいです」と、とびっきりの笑顔を見せてくれました。

ダンスコンテスト Dance Contest



学内外を問わず、多くのチームが参加したダンスコンテスト。スポットライトを浴びて美しく踊る姿に、会場となった体育館のボルテージもヒートアップ。プロ顔負けの踊りに、会場は大いに盛り上がりました。



ベスト・ナカッパル Best Na-Couple



ベスト・ナカッパルとは中村のカップルの略で、学内のカップルが仲の良さを競う毎年恒例となった企画です。豪華な商品ももらえるだけあって、アツいカップルたちがナカッパルの称号を目指し二人の力を合わせて奮闘しました。



ミニコンサート Mini Concert



音楽系サークルを中心に、ロック、フォークなど、さまざまなジャンルの音楽のミニコンサートが、食育館と学生会館で開催されました。

お茶会 Tea Ceremony



遠流茶道部によるお茶会。一般の方や他大学の茶道部の方など、多くのお客さまをおもてなししていました。

N-1 グランプリ N-1 Grand Prix



中村ナンバーワンのお笑いを決めるN-1グランプリ! お笑い自慢の学生が大集合し、会場に詰めかけた観客を笑いの渦に巻き込みました。出場者と観客とのやりとりも面白く、笑いが絶えないイベントになりました。

第48回 霜月祭表彰

○理事長賞(フードバザー部門)

第1位 内田ゼミ(かしわおにぎり、マドレーヌ)

第2位 薬膳・食育ボランティア同好会(薬膳カレー、甘酒ゼリー)

第3位 バドミントン同好会(アップルパイ、スイートポテトパイ)

○学長賞(展示・ステージ部門 中村ミュージアム)

第1位 書道部(展示)

第2位 華道部(展示)

第3位 カンボジアプロジェクト(展示)

【手羽先の唐揚げ】
自治会執行部会長の片山さんは「同窓会とコラボした手羽先の唐揚げが霜月祭の名物になっています。自治会と同窓会の架け橋であり続けるように日々努力を惜しまずに活動していきたいです」と語ってくれました。

5 学友自治会執行部 & 同窓会



【アップルパイ・スイートポテトパイ】部長の天津さんはたくさんの方が買ってくれました! 調理担当のメンバーもそれに合わせて頑張っていました。そのおかげで予定していた量を完売することができました! 目頭を熱くして語ってくれました。

4 バドミントン同好会



【豚汁】ゼミ長の田尻さんは「使用する具材や味にこだわり、2回のリハースルを重ね、価格以上の品質になるよう努めました。大きなハブニングも無く本番を終えることができました」と語ってくれました。

3 片山ゼミ

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



株式会社デンソーセールス 九州支社

松尾 香奈さん

平成24年度 中村学園大学短期大学部
キャリア開発学科 卒業

オープンな社風の会社で、 気持ち良く仕事ができています。

この会社で働きたいという
強い気持ちがあった

就職活動中、株式会社デンソーセールスは雰囲気が良い会社だと就職課の方から勧められ、会社説明会に参加しました。その際、新人でも自分の意見を正當に評価してもらえる会社であることに共感し、またいきいきと働かれている社員の方々の姿に憧れ、この会社で働きたいという強い気持ちを抱きました。面接を受け約2週間後、内定したことを就職課の方から知らされた時は嬉しさのあまり、先生や友人など応援してくれた人に感謝の気持ちを伝えたくて大学のキャンパス内を走り回っていました。

株式会社デンソーセールスは自動車部品を取り扱っている会社で、私は入社し

てもうすぐ2年になります。入社前に想像していた通りとても風通しの良い会社で、まだ経験が浅い私の意見も上司の方々にしっかりと聞いてもらえます。会社は「さん付け運動」をしていて、社長や部長のことも肩書きではなく名前で〇〇さんと呼んでいます。そんなオープンな社風が私に合っていると感じますし、日々気持ち良く仕事ができています。

大学での学びが
日々活かされている

私は入社当初から業務企画部業務企画室という部署で経理を担当し、売掛金や経費処理の業務に携っています。経理の仕事はいかにミスをしないかが重要

です。これまでにいくつかの失敗をしましたが、そんな時は、優しい先輩方がフォローしてくださって乗り切ることができました。現在は、昨年の9月から引き継ぎ、任されている売掛金業務をスムーズに行えるよう努力している毎日です。

即戦力で入社し、これまでやってこられたのも大学での学びがあったからこそだと思います。特に、簿記、パソコン、秘書検定の授業で学んだことは、現在どれもが大いに役立っており、2年間で身に付けたスキルをいかなく発揮できています。目標に向かって勉強するクラスの仲間刺激を受け、さまざまな資格を取得できたのも今に活かされています。

現在大学で学んでいる学生に伝えたいことは、学業、遊び、アルバイトなど、全てにおいて努力して欲しいということです。その時々で集中して頑張ることで、自分がやりたいことが見えてくると思いますが、私もチャレンジ精神を持って頑張っています。



忙しい経理業務を担当する松尾さん曰く「社内の営業スタッフや取引先の経理の方とのやりとりが多く、仕事をすすめる上でコミュニケーションのとり方が重要な部署です」。

上司からのメッセージ



株式会社デンソーセールス九州支社
副支社長

近藤 宗男 様

松尾さんについて

松尾さんは負けん気が強く、言い換えると根性がある人物。入社して半年ほどでミスが重なった時がありましたけど、しっかりとそのミスを報告してくれましたし、その後もミスにめげることなく頑張ってくれました。また、オンとオフの切り替えが上手で、忘年会の時などはみんなを盛り上げてくれて助かっています。会社経営を左右するお金を扱う仕事でプレッシャーを感じることもあると思いますが、自分なりに努力してくれている大切な社員です。

就職活動中の学生へ

毎年かなりの人数の学生と面接していますが、魅力を感じるの自分を持つている人。世の中の物事を真剣に見て、ちゃんと自分の意見や考えを持っている人です。マニュアルに捉われず、本気になって向き合ったことを自分の言葉で語ることができる学生を評価します。

平成27年度 入試結果

平成26年11月末現在

※競争率は、受験者数／合格者数（小数点第3位以下を四捨五入）

●中村学園大学（推薦入試）

学部・学科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部 栄養科学科	公 募	50	156	156	64	2.44
	併設校	20以内	20	20	18	1.11
	指定校	20	29	29	29	1.00
教育学部 児童幼児教育学科	公 募	78	128	128	106	1.21
	併設校	17以内	17	17	17	1.00
流通科学部 流通科学科	公 募	20	29	29	28	1.04
	併設校	35以内	17	17	17	1.00
	指定校	55	78	78	78	1.00

●中村学園大学短期大学部（推薦入試）

学 科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公 募	40	74	74	55	1.35
	併設校	8以内	8	8	8	1.00
	指定校	60	62	62	61	1.02
キャリア 開発学科	公 募	10	19	19	18	1.06
	併設校	15以内	12	12	12	1.00
	指定校	110	123	123	123	1.00
幼児保育学科	自己推薦	5	3	3	3	1.00
	公 募	75	102	102	95	1.07
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	60	73	73	73	1.00

●中村学園大学大学院（前期入試）

研究科・専攻	課 程	選考名	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期課程	推 薦	6	1	1	1	1.00
		試 験		2	1	1	1.00
	博士後期課程	試 験	3	1	1	1	1.00
教育学研究科 教育学専攻	修 士 課 程	推 薦	5	1	1	1	1.00
		試 験		0	—	—	—
		社会人		0	—	—	—
流通科学研究科 流通科学専攻	修 士 課 程	推 薦	10	3	3	3	1.00
		試 験		0	—	—	—
		社会人		0	—	—	—
		外国人		0	—	—	—

今後の入学試験のお知らせ

●中村学園大学 試験入学選考（後期日程）

種 別	学 部	学 科	募集人員	願書受付期間	試験日	合格発表日
試験入学選考 （後期日程）	栄養科学部	栄 養 科 学 科	5	平成27年 2月16日(月) ～2月26日(木)	平成27年3月4日(水)	平成27年 3月11日(水)
	教育学部	児童幼児教育学科	5			
	流通科学部	流 通 科 学 科	5			
大学入試センター 試験利用入学試験 （後期日程）	栄養科学部	栄 養 科 学 科	3	平成27年 2月16日(月) ～3月4日(水)	①平成27年度大学入試センター試験の成績を基に合否判定を行う。 ②本学の個別学力試験は課さない。	平成27年 3月11日(水)
	教育学部	児童幼児教育学科	5			
	流通科学部	流 通 科 学 科	3			

●中村学園大学大学院（後期入試） ※募集人数は、前期入試を含む

研究科・専攻	課 程	選考名	募集人員	願書受付期間	試験日	合格発表日
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期課程	試 験 入 学 選 考	6	平成26年 12月24日(水) ～ 平成27年 1月20日(火)	平成27年2月21日(土)	平成27年 2月27日(金)
		外国人留学生特別	3			
	博士後期課程	試 験 入 学 選 考	5			
教育学研究科 教育学専攻	修 士 課 程	試 験 入 学 選 考	10	平成27年 1月20日(火)	平成27年2月21日(土)	平成27年 2月27日(金)
		社会人特別入学選考				
		外国人留学生特別				

●中村調理製菓専門学校

	学科・コース	区分	選考方法		願書受付期間	試験日	合否通知発送日
夜間	調理師科夜間コース(1年6ヶ月) 平成27年4月設置(認可申請中)	一般 入試	面接	第5回	平成27年2月2日(月)～2月18日(水)	平成27年2月22日(日)	平成27年3月2日(月)
				第6回	平成27年2月23日(月)～3月17日(火)	平成27年3月21日(土)	平成27年3月25日(水)
昼間	調理師科1年コース・調理師科2年コース・製菓衛生師科(1年)・製菓技術科(2年)・製パン学科(1年)	一般 入試	面接・適性 検査・作文	第5回	平成27年2月2日(月)～2月18日(水)	平成27年2月22日(日)	平成27年3月2日(月)
				第6回	平成27年2月23日(月)～3月17日(火)	平成27年3月21日(土)	平成27年3月25日(水)

■大学生・短大生・社会人対象個別説明会：平成27年2月4日(水)18：30～19：30、2月14日(土)10：30～11：30、3月5日(木)18：30～19：30

■体験入学：平成27年3月1日(日)11：00～15：00、3月28日(土)・29日(日)12：00～16：00

●中村国際ホテル専門学校（併設校） 入学試験の詳細は本校ホームページにて

お兄ちゃんのような存在の優しくて頼れる先生です！

Welcome to Our Seminar

わがゼミ案内

流通科学部 流通科学科 木下ゼミ (2~4年生 計18名)



2~4年生全員。霜月祭にて、たこ焼き、クレープ、ライスコロッケの模擬店を出店。

システム開発成功のカギは 技術+マネジメントにあり！

社会や企業などで活用される情報システムをより便利なものにするために、開発プロジェクトに必要なことは何なのか？ チームでのシステム開発を通じて、技術の習得と、コミュニケーションやマネジメント能力の向上に努めています。

また、一つの目標に向かって、2年生から4年生までの各学年のゼミ生が協働しているのが、このゼミの特徴です。

(木下先生の口癖)
マネジメントが
なっていない！

准教授
木下 和也 先生



4年生ゼミ。卒論もタブレットPCで執筆。



3年生ゼミ。各グループが開発したシステムのコンペティション。



2年生ゼミ。タブレットPCによる、プログラミング演習。

プロジェクトの成功要因を探り 経験によって理解を深める

社会や企業活動をIT技術で支援するソフトウェアや情報システム。この開発を行うプロジェクトを成功に導くために求められるマネジメント手法と成功要因を探ることが、木下ゼミの研究テーマです。

学生は数名でチームを組み、それぞれのプロジェクトを進めます。まずは簡単なWebページの作成から始め、段階的に通販・物流・マネジメントシステムなど、機能的なWebシステムの構築を目指します。

「より良いシステムは、プログラミングのスキルだけでは完成しません。ビジネスや会社組織、顧客との関係などを理解することも大切。さらに、チーム内の深いコミュニケーションも欠かせず、人を活かすマネジメント能力も重要です」と先生は語ります。プロジェクト終了後、このコミュニケーションとマネジメント能力の重要性を理解することは、その後の学術的な研究に繋がります。

また、ゼミ生は霜月祭に出店し、より実践的な場でプロジェクトマネジメントを体験。先生曰く「ゼミ生は人員や予算、期間など数々の制限の中で、プロジェクトを成功させなければならないという緊張感をもつて取り組みます。この経験をチームでのシステム開発や過去のさまざまな事例と比較することで、プロジェクトマネジメントの理解をさらに深めていきます」。

ゼミ生が主役の学びの場と 現場のリアルな情報を提供する

現在、流通科学部が実験運用している、スマートフォンを利用した出席管理システムやアンケートシステム。これらの開発、修正作業にゼミ生のアイデアとスキルが活かされています。「実際に使うシステム

を開発することで、ゼミ生は使命感をもつて臨んでいます」と先生。実践的な学びの場で積む経験は将来、企業で活躍できるビジネスパーソンの素養を高めてくれると考えています。

このような実践力を養う学びに加え、先生は「システム開発の現場にいるエンジニアは、プログラミングスキルをもった理系出身者だけではなく、ビジネススキルを身につけた文系出身者も多く活躍しています」など、企業のリアルな実情も伝えています。

ゼミ生に木下ゼミの雰囲気を探ねると「学年の隔てがなく、まるで兄弟のような関係。ゼミ生同士で集まる機会が多く、自然と仲良くなります」と笑顔で話してくれました。また、「先生はゼミ生の発言を受け入れ、やりたいことに挑戦させてくださるため、やる気が高まります」と語るなど、評判は上々。ゼミ生の多くは将来、企業でシステムや商品、サービスを企画・開発したいという志を持っています。高い意識を持ったゼミ生が具体的な将来像を描きながら学ぶ姿が印象的でした。

Profile

大分県出身。2012年4月より本学。職歴は高等学校教諭、専門学校教員、大学教員など教育関係が中心。学生時代からのバックパッカーで、時間があれば東南アジアを中心に旅して、さまざまな人に会う。ロシア人の家庭に何度もホームステイし、外国の家庭教育に関心を持つ。こういったことが、ゼミのアットホームな雰囲気に影響している。





CLUB & CIRCLE

薬膳・食育 ボランティア同好会

- ◎部員数／19名
- ◎部 長／津田 菜々子
(栄養科学部4年生)
- ◎副部長／水上 稚菜
(栄養科学部2年生)



顧問の三成教授。学生曰く「先生からは食に関するだけでなく、厳しい中にも優しさがある言葉で、礼儀など、多くのことを教えていただいています」。



食育劇、薬膳料理の講習会の様子。成功させるために、部員全員が協力し合って、事前準備を入念に行い、強い回結力で結ばれています。

同好会には他にも重要な活動があります。それは、霜月祭において学園租中村ハル先生から伝えられてきた「薬膳カレー」を作って模擬店で提供することです。

薬膳・食育ボランティア同好会は、部員19名全員が栄養科学部の学生で、地域において主に、薬膳及び食育の大切さを伝えるボランティア活動を行っています。同好会の顧問である三成由美教授(栄養科学部)の指導のもと、福岡県築上郡上毛町や城南区を中心とした公民館などで、年配の方々を対象に食育劇を行ったり、薬膳料理教室を開催したりしています。

「野菜を食べることで腸内環境を整える重要性を伝えるなど、劇の内容はさまざまです。約50名のご来場者の前で劇を行ったこともありますよ。また、四季の薬膳料理の講習会では、身近な食材で健康に寄与できる料理を作ることができる」と認識していただくと、参加者と「一緒に料理を作っています」と語る部長の津田菜々子さん。副部長の水上稚菜さんは「劇や料理講習会を通じて地域の方々から感謝の言葉をいただき、それが活動する上での励みになっています」と語ってくれました。



津田部長(左)と水上副部長(右)。「同好会の活動は“伝え教える”ことが基本ですが、活動を通じて私たちが“学ばせていただいている”感じます」と口を揃えます。

水上さんは「ハル先生が研究された伝統のカレーなので、部員一同、大切に継承していきたいという思いで毎年作っています。1日200食作っていますが、すぐに完売するので、来年からはもっと作る量を増やしたいです」と語ってくれました。

最後に津田さんは同好会の今後についてこう語ってくれました。「栄養科学部の学生だけの同好会ですが、これからは栄養科学部以外の学生にも入部してもらいたいと考えています。子どもたちと接する機会もあるので、教育学部の学生にも有意義なサークルだと思います。他学部の学生からは私たちがとは別の視点での意見ももらえるでしょうし、学部を問わず、少しでも興味があれば、ぜひ入部して欲しいです。前向きでやる気がある学生なら大歓迎です。」

薬膳、食育のことを、
より多くの人に理解してもらいたい!!

食の中村々ならではの薬膳・食育ボランティア同好会。
食育劇や薬膳料理の講習などを通じて地域と深く交流しています。

これが中村生の実態ダッ!!!

♪ 2014年 頑張ったことランキング ♪

学業の他に頑張ったことを聞きました。結果は1位がアルバイト! さまざまな活動に対する学生の熱い想いが垣間見えました!



1位

アルバイト 24名

- ブライダルのアルバイトで、配膳の仕事を頑張りました。お客さまに「良いサービスをありがとう。また来た時よろしくね。」という言葉をかけていただいて、やりがいを感じました。(教育学部 3年 高倉 美佳さん)
- 通学に片道2時間かかる中、合間を縫ってアルバイトしました!(教育学部 2年 瀧口 真衣さん)
- 子どもにダンスを教えるアルバイトのため、授業以外でも子どもに関わり、そして学ぶことができました。(教育学部 2年 佐藤 遥香さん)

2位

部・サークル活動 19名

- アカペラ同好会を友だちと立ち上げました。最初はどのように練習したらいいかわかりませんでしたが、学園祭に向けてみんなで試行錯誤しながら頑張りました。(流通科学部 1年 山岡 大将さん)
- サッカー同好会で九州大会3位になりました。来年は1位を目指します。(教育学部 2年 田村 将さん)

3位

学外実習 15名

- 小学校実習の際、普段遅刻をしてしまう女子児童が、家庭科の時間に名前刺繍入り「ポケットティッシュケース」を作ってくれたことが心に残りました。(教育学部 3年 橋口 将太さん)

その他の回答

- 「つくし路100km徒歩の旅」を人生で一番といえるくらい、頑張りました。ゴールデンウィーク明けから土日は全部研修でしたが、先輩たちの姿はかっこよく、尊敬できるものであり、毎週楽しみでした。(流通科学部 1年 大堀 夏実さん)
- 友だち作りを頑張りました。出身高校が同じ友だちがなくて苦労しました。(短期大学部幼児保育学科 1年 中川 紫緒里さん)

♪ 春休みにしたいことはなんですか ♪

行き先は沖縄や京都が多く、中には海外旅行をしたいという学生もいました。

**1位は
ダントツで
旅行!!**

69名

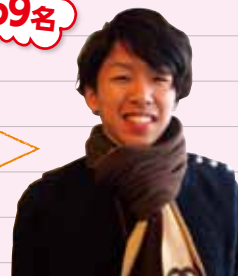


自転車で四国一周

「自転車で四国一周」がしたいです。昨年は、5日間かけて京都まで行きました。その時に今後いかなることも乗り切れそうな気がしたので、次は四国一周に挑戦したいです。(教育学部 2年 宇佐美 輝さん)

旅行

イギリスのロンドンに行って、和製英語を本場で学び豊かな文化を肌で感じてみたいです。(流通科学部 1年 石田 華奈子さん)

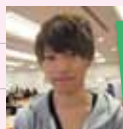


その他の回答

- 部屋の掃除 (流通科学部 2年 中島 志穂さん)
- 身長を伸ばす! (栄養科学部 2年 家入 慶子さん)
- 自動車学校 (教育学部 1年 田中 菜摘さん)
- ボランティア☆ (教育学部 2年 三浦 貴也さん)
- 就職に向けての取組み (流通科学部 3年 高尾 史映さん)

♪ 2014年を漢字一文字で表すなら? ♪

たった一文字におさめてしまうのはもったいないくらい、たくさんの活動に励んだ学生の魅力をお伝えします!



繋

大学に入学して人との繋がりが広がって、考え方が豊かになりました。また、学園祭の総合製作パートに入ってステージ台の看板を作りました。学園祭実行委員会で学んだ協調性の大切さを、将来に繋げていきたいです。(流通科学部 1年 森光 亮太さん)



充

実習があった忙しさ、仲良しのクラスメイトとの毎日を「充実」という字で表しました。来年度からの幼稚園への就職は、不安もありますが、子どもたちと出会うことが楽しみです!(短期大学部幼児保育学科 2年 西 佳穂さん)



詰

サークル、自動車学校、バイトなど、いろいろ詰まっていた年でした。特に模擬授業に関しては、授業外での準備で多くの時間を費やしました。終わった時は達成感がありました。(教育学部 2年 左から道久 愛梨香さん 池田 佑利香さん 秋吉 佳奈さん)



♪ 最近のPICKLESメンバー ♪

大学の広報活動としてHPやFacebookの取材・記事作成にも頑張っているピクルスメンバーの学生生活にまつわるエピソードです。

「PICKLES」は、本学のスチューデントジョブ制度に登録している広報アシスタントが主体となって中村を紹介する学生チームです。

流通科学部 3年 河津 舞子



昨年、寮のクリスマス会がありました。サンタに変装した寮監さんからプレゼントをもらったり、皆で出し物を披露したりして楽しみました。私は、後輩とフラダンスを踊り、あまりフラダンスを見る機会のない方にも、学生のフラダンスがどのようなものか感じてもらえて良かったと思います。大切な存在である寮生と充実した毎日を送っています。

流通科学部 3年 家村 恭輔



大学3、4年生になると、進路のことなどで忙しくなる日々。この写真は昨年3月に卒業をテーマにした内容を大学Facebookに掲載するために撮影したものです。撮影当時はとても大学が静かだったのがとても印象に残っています。初心に帰ってこれからも頑張ろうと思います。

栄養科学部 2年 山道 奈緒



私は公開講座の取材をいつも楽しみにしています。公開講座は大学開放活動の一環として市民の方々と交流を深める目的で毎年開催されていて、取材を通して自分の知識を深めることもでき、とても貴重な体験となっています。

教育学部 2年 樺山 佑樹



平成26年11月、鳥飼公民館で「ふれあいサロン」というイベントに参加し、アコースティックギター同好会として演奏しました!地域の方々と音楽を通して交流することができ、とても楽しかったです♪サークル活動は大学生活で地域の方々と触れ合える数少ない機会なので、これからも地域と学生がお互いに楽しめる活動を行って行きたいです。

教育学部 2年 月原 早耶香



平成26年11月に行われた城南校区のお祭りで、フラサークルは城南小学校の子どもたちと一緒にフラダンスを踊りました。子どもたちの踊っている姿がとてもキラキラしていて、私も子どもたちに負けないように頑張ろうと思いました!

流通科学部 2年 大津 涼太郎



僕が所属しているバドミントン同好会は、霜月祭で餃子の皮を使ったアップルパイとスイートポテトパイを販売しました。大変好評で、模擬店投票で選ばれる「理事長賞」も第3位をいただくことができました!霜月祭出展をとおして更にサークルメンバーの仲を深めることができました。



大部正代教授（左）



栄養教育及び研究のグローバル発信



アジア栄養士会議（台湾）研究発表

※肩書き等は開催日時のもの

平成26年8月21日から24日にかけて、第6回アジア栄養士会議が台湾（台北市）で開催されました。

本学からは、栄養科学部三成由美教授（研究テーマ「The intestinal microbiota in elderly inpatients with good and poor nutrition」）、共同研究者である栄養科学部楊萍助手（研究テーマ「The effect of the heating methods on taste components and palatability of yaoshan chicken soup」）、徳井教孝客員教授（研究テーマ「Association between intestinal microbiota and constipation symptoms among Japanese residents」）、青峰正裕名誉教授と、共同研究者である栄養科学部大和孝子准教授（研究テーマ「Catechin-rich beverage reduces oxidative stress in stress-loaded diabetic rats」）、短期大学部食物栄養学科仁後亮介助教（研究テーマ「The relationships between estrogen decrease by ovariectomy and cold condition」）が研究発表を行いました。多数の研究発表の中から三成由美教授の発表がポスター賞を受賞しました。

栄養士の国際会議は、世界の栄養士が集結する国際栄養士会議とアジアの栄養士が集うアジア栄養士会議が交互に2年の間隔をあけて、それぞれ4年毎に開催されています。

今回は、公益社団法人福岡県栄養士会会長である栄養科学部大部正代教授も参加し、国立台湾大学医学部付属病院を見学。栄養マネジメントの質の高さに深く感動を覚えました。

19歳の時に、遼寧衛生職業技術学院(中国)と本学との協定に基づき、日本に留学しました。短期大学部食物栄養学科に入学し、その後は大学と大学院で学び、栄養科学部の助手として3年目を迎えた時に、アジア栄養士会議でこれまでの研究成果を発表することができ、貴重な経験となりました。中国には栄養士制度がないため、中国からの参加者はいみじくもでしたが、今後は、管理栄養士として日本と中国の架け橋になって頑張ります。

楊萍助手

日本からの参加者も多く、公衆栄養、給食管理、臨床栄養など、さまざまな分野からの研究発表に触れることができ、見聞を広めることができました。また、今回は国立台湾大学医学部付属病院の施設見学会にも参加し、給食施設や巨大なフードコートなど、日本の病院施設との違いに驚きと感激を覚え、とても貴重な経験となりました。

大和孝子准教授

私自身、初の国際学会であり、当然、海外での発表も初めての経験でした。ポスター発表を行いました。英語でのディスカッションでは常に日本語を使用できる国内の学会とは全く異なる難しさがあり、自分の力不足を感じながらも良い経験となりました。

仁後亮介助教



徳井教孝客員教授（左）
楊萍助手（左から2番目）、三成由美教授（右）



大和孝子准教授（左）、仁後亮介助教（右）

上海中医药大学（中国）栄養学国際課程 集中講義

上海中医药大学と本学は、学術交流協定を締結して20年目を迎え、2006年には両校共同による日中薬膳・機能性食食材博覧会（薬膳EXPO）を主催しました。

上海中医药大学の医学技術院王秀蘭院長の招聘を受け、平成26年5月12日から16日にかけて、三成由美教授と徳井教孝客員教授が栄養学国際課程において、栄養学専攻の教員と学生のための集中講義を行いました。

三成教授は日本の管理栄養士の現状と栄養マネジメントを紹介し、管理栄養士教育の基本となる食事設計と栄養調理、各ライフステージ別の栄養管理について、徳井客員教授は世界の公衆栄養学の変遷と発展、日本の公衆栄養学と健康増進、予防栄養学と栄養疫学などについて講義を行いました。

平成26年12月1日、三成教授と徳井客員教授は、日本・中国における幼児の栄養調査依頼のために上海中医药大学を訪問。その際には、徐建光学長から、今後の中国・上海市の栄養教育と栄養制度への支援、上海中医药大学の栄養教育への協力依頼を受けました。



発達支援センター「親子教室」

「親子教室」は、本学教員による乳児期から幼児期までの発達に関するミニレクチャーをはじめ、親子遊びや自由遊び、保護者の子育てに関するフリートーキングなどを行う場として地域の親子（2歳児）を対象に、本学・発達支援センターの主催により毎年行われており、今年度は左記の日程で開催されました。

■第1日目 平成26年10月9日

◆針塚進センター長挨拶

◆オリエンテーション

◆参加者自己紹介

■第2日目 平成26年10月18日

◆イクメンについて考えよう

（短期大学部幼児保育学科 圃入智仁准教授）



第1日目



第2日目

■第3日目 平成26年10月30日

◆楽しく体を動かそう！

（教育学部 松垣淳子講師）

■第4日目 平成26年11月13日

◆ダンゴムシと遊ぼう

（教育学部 相良康弘教授）

発達支援センターでは、親子教室のほかに「子どもの育ちをみつめる保育・教育専門講座」を毎年行っており、平成26年度は「子どもの発達と保護者支援」をテーマに、平成27年2月14日、2月28日、

3月7日の3日間に亘って開催する予定です。



第3日目



第4日目

後学期公開授業（授業参観）

平成26年11月4日から28日にかけて、公開授業（授業参観）が実施されました。

この取り組みは、本学の教員が担当する授業を公開し、本学の教職員が相互に参観するもので、今年度で6年目になります。参観した教職員は、参観するだけでなく、自身の授業に取り入れたい点や感想、アドバイスなどをレポートにまとめて提出し、参観を受けた教員は、参観者からのレポートを受けて、今後の授業の改善を図ります。

この公開授業（授業参観）は本学で取り組んでいる全学FD活動（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な活動）の一つであり、全教職員が協力して教育の改善を目指しています。今回は大学・短期大学部で開講する科目が対象で、243科目の参観が行われました。

同時に、高大連携の一環として、併設校（中村学園女子中学校・高等学校、中村学園三陽中学校・高等学校）と大学間の公開授業（授業参観）も併せて実施され、教員が相互に授業を参観するという取り組みも行われました。また、今回からは付属幼稚園（あさひ幼稚園）への参

観も可能となるなど、学園全体で積極的なFDに取り組んでいます。

第23回アジア栄養科学ワークショップ

平成26年11月29日、本学西1号館10階大講義室にて第23回アジア栄養科学ワークショップ「栄養と健康」が実施されました。このワークショップは、毎年大学院栄養科学研究所の主催により大学院生をはじめ、学部生、教職員、学外研究者、市民等を対象に企画され、アジアにおける食と栄養の現状に関する最先端の研究成果の発表や討論が行われています。今回は、国内外から次の4名の講師をお招きして、左記のプログラムで実施されました。



プログラム

【司会進行】栄養科学研究科 准教授 大和 孝子

■開会の辞

学長 甲斐 諭

■講演

【座長】栄養科学研究科 教授 藤田 守

1. 「コラーゲン分解物の生理活性」

秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 山口 典子

2. 「漢方薬と健康」

福建医科大学 公衆衛生学院 名誉院長 吳 志仁

3. 「ホルモンと生殖機能」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 研究科長 小路 武彦

4. 「胎生期栄養環境と生活習慣病の形成機序」

早稲田大学総合研究機構 研究院教授 福岡 秀興

■討論会

■閉会の辞

栄養科学研究科長代行 教授 津田 博子

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

平成26年度 筑前町ど〜んとかがし祭

「筑前町ど〜んとかがし祭」

は、筑前町の自然の恵みに感謝し、収穫をみんな喜び合う祭りです。また、地域住民の連携と融和を図り、思いがけない発見や感動に出会える祭りでもあります。本学と筑前町の連携協力協定締結をきっかけに、今年も流通科学部の学生32名が参加しました。第10回筑前町ど〜んとかがし祭は平成26年11月1日の前夜祭、翌2日の本祭と安の里公園（筑前町篠隈）で行われました。本祭では途中雨が降ることもありましたが、多くの方が来場され、学生はそれぞれの班に分かれ、役割を任せました。祭りに参加した学生は、今回の体験を通して、町を大切に思う役場の方々の熱い気持ちや、祭りには多くの方が関わっていること、地域の関わりの温かさを実感したようです。



UR都市機構と連携協定を締結



平成26年10月20日、中村学園大学・中村学園大学短期大学部と独立行政法人都市再生機構九州支社の連携に関する協定書 調印式

宅における子育て・高齢者支援、地域住民の健康維持・増進、地域経済の振興などのさまざまな分野に関する諸問題に対応し、地域の活性化と発展に貢献することを目的として連携協定を締結しました。城南区は福岡市内でも高齢化が進み、また多くの子育て世帯も存在していることから、そこから生じる課題に対して本学がこれまでに培ってきた教育研究の成果を還元していくことが強く期待されています。同時に本学としても、そうした地域の諸問題に対して積極的に学生を関与させ取り組ませることで、実社会での経験を通じた学生の主体的な学びの機会を増やしていきたいと考えています。

第10回 地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム



平成26年10月26日、福岡歯科大学・本館9階講堂において、第10回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

が開催されました。このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学連携のもと、市民の健康づくりを目的に実施しているもので、今年度で10回目を迎えました。当日は、地域住民や各大学の関係者を中心に、182名の方々が参加されました。今年は「高齢社会を楽しく生きる秘訣とは」をテーマに、各大学の講師による専門分野に関する講演と、来場者との公開討論が行われました。来場者と講師による公開討論では、来場者から日常生活における悩みなど多くの質問が寄せられ、活発な討論が交わされました。



プログラム

開会の辞・総合司会

福岡歯科大学 口腔・歯学部門長 佐藤 博信

当番校挨拶

福岡歯科大学 学長 北村 憲司

《第1部》

講演

◇「楽しく食べて健康長寿」

中村学園大学 栄養科学部 教授 岩本 昌子

◇「口コモを予防して元気で長生き」

福岡歯科大学 リハビリテーション部 教授 塩田 悦仁

◇「きれいな息で楽しい毎日
—口臭ケアで心も身体も元気に—」

福岡歯科大学 総合歯科学講座 教授 米田 雅裕

《第2部》

公開討論

司会進行：福岡歯科大学医科歯科総合病院 副院長 阿南 壽

閉会の辞

福岡歯科大学 副院長 中島 衡

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

図書館「Library Lovers' キャンペーン2014」

秋の読書週間に合わせ、本学図書館において「Library Lovers' キャンペーン2014」が実施されました。このキャンペーンは、学生の図書館利用促進を図ることを目的として九州地区大学図書館協議会（九州・沖縄国公立大学78館加盟）が実施するものです。合同企画では、「衝撃のワンフレイズーそのひと言が、あなたを変える」というタイトルのもと、これまで出てきた本の中から「衝撃を受けたひと言を募集し、キャンペーンで『衝撃』を共有するという企画を行いました。投稿してくれた学生には、Library Lovers' オリジナルトートバックが進呈されました。

また、本学オリジナル企画として、「帯コン——衝撃のワンフレイズー」というテーマで本の帯コンテストを開催しました。これは、「衝撃」を受けたひと言を書いた本の帯を募集し、来館者が投票して優秀作品を決定するという企画で、24作品の応募がありました。応募した学生にはもちろんハロウィーンお菓子が、さらに投票数が多かった上位10作品の学生には優秀賞として図書カードが進呈されました。



今年から活動を開始した図書館学生サポータージョブの学生7名が協働してキャンペーンを盛り上げました。



グルメ選手権 最優秀賞



平成26年11月18日、ホテル日航福岡（福岡市博多区）で福岡県、食育・産地地消ふくおか県民会議が主催する「食育・産地地消月間」のイベント「福岡のおいしい幸せ」大晩餐会が開かれ、催しの一つとして6大学対抗「グルメ選手権」が開催されました。グルメ選手権とは、各大学と地域の農産物直売所がタッグを組んでその地域の特産品を用いたスイーツの商品開発を行い競うものです。

審査方法は審査員4名と大晩餐会の参加者約1,000名による投票です。どのチームも100名による投票です。どのチームも地域の特産品の良さを研究し試作を重ね工夫が詰まったスイーツを完成させていて接戦となりましたが、最優秀賞中村学園大学、優秀賞福岡大学、3位福岡女子大学という結果になりました。

栄養科学部3年生5名は、JA福岡市「博多じょうもんさん福重市場」、吉積ぶどう園、伊都物語ヨーグルトの皆さまのご協力のもと福岡の特産品である、ぶどうを使用した商品の開発を行いました。新しい商品を作ることは予想以上に難しく、何回も失敗を重ね、多くの方々にアドバイスをいただきました。ながら試行錯誤の末、ぶどう畑のレアチーズケーキを完成させました。





教育学部との プロジェクト研究

吉岐幼稚園園長 宮坂 明

本年度から2年間の計画で、中村学園大学教育学部とのプロジェクト研究「子ども自らが考えて行動する力の育成の在り方についての研究」を行っています。吉岐幼稚園の教育（保育）方針は、「強い子、優しい子、考える子を育てる」です。通常の教育（保育）活動において、担任や補助者はさまざまな指導を行っています。もう少し計画的に取り組めないか考えてみたいというのが、この研究を行うに至った理由です。今回の研究では、特に「考える子」について、一定の効果が確認されている指導プログラムを活用し、担任の実践を通して、子ども自らが考えて行動することをいかに育成するかを研究しています。

今日の社会は、電子メールなどによる頻繁なやり取りの反面、対面でのやり取りは少なくなっています。便利な社会は、一見するとコミュニケーションが取れているように見えますが、実際はコミュニケーション能力の低下を招いているのではないのでしょうか。これから社会を生きるうえで、他者の気持ちを理解し、自ら考えて行動することは、とても大切なことと言えます。では、子どもが自ら考えて行動する力とはどのようなものでしょうか。現行の学習指導要領及び幼稚園教育要領が目指すものは、「生きる力」「生きる力の基礎」の育成です。これは、学力などさまざまな力が複合されたものですが、この研究に関わる力を抜き出してみると、「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる」といった力と言えるでしょう。このことは、豊かな人間性に繋がります。今回の研究を通して、自ら考えて行動し、豊かな人間性をもった子どもたちを育てたいと考えます。



バランス弁当献立

雑穀ご飯、豚肉と白ネギの塩焼ロール、鯛の焼き浸し、ネギ入り卵焼き、巾着きのこ、ふるふき大根、かぼちゃとヤーコンのキンピラ、ほうれん草の胡麻和え、豆ピクルス、豆乳ゼリー（柿ソース添え）

フェスティバルには、栄養科学部の学生18名がボランティアとして参加し、生活習慣病予防に関するポスター作りや調理を行い、また多くの参加者と関わることで、管理栄養士を目指すうえでも有意義な時間となりました。

終了しました。

当日は、福岡県産の旬の農産物を盛り込んだ栄養クリニック特製栄養バランス弁当を喫食しながら、農作物の提供者である野村農園代表野村勝浩氏による農作物に関するお話や、栄養科学部の大部正

ご参加いただきました。平成26年11月3日、本学栄養クリニックにおいて地域住民を対象とした、生活習慣病予防のための体験型イベントを開催し、6歳〜82歳の幅広い年代の方々に

**栄養クリニック
第1回 健康フェスティバル**
—あなたの生活習慣病予防をサポートします—



商品企画コンテスト Sカレッジ準優勝 —流通科学部 明神ゼミ—

マーケティングを学ぶ学生が、商品企画を競う「スチューデント・イノベーション・カレッジ（Sカレッジ）2014」の最終発表会が平成26年11月29日、名古屋の中京大学で行われました。全国29大学から125チーム（400名以上）が参加し、企業から与えられたテーマに別れて企画を提案しました。



審査の結果、中村学園大学・明神実枝ゼミのコンパクト木家具「彩（いろどり）」が総合2位である「プラン準優勝」に輝きました。

畑部緑、池田良平、高島康平の流通科学部3年生3名は「コンパクト木家具」のテーマのもと、5月から半年間、観察調査、コンセプトの創出、試作品の製作などを重ねてきました。生活を深く

観察する中で、収納よりも飾って楽しむことが求められていると洞察し、「空間を彩って、生活をもっと豊かに」というコンセプトの商品を提案しました。今後、デザイナーの桑野陽平氏との話し合いによって商品仕様を決定し、平成27年3月にウェブサイトを「CUT-SOO」より予約販売を開始する予定です。また、高級インテリア家具を製造する広島県府中の松井木工様に生産していただくことが決まっています。



・「彩」のプロジェクトページ
<https://cusooc.com/projects/3777>
・Sカレッジ詳細ページ
<https://cusooc.com/sic>
・Facebookページ
<https://www.facebook.com/StudentInnovationCollege>

平成26年度 大学生アグリスクールin福岡市

平成26年5月から11月までの全7回に亘り、本学とJA福岡市・JA福岡中央会の共催による「平成26年度大学生アグリスクールin福岡市」が行われました。3年目を迎えた今年度は、食や栄養を専門的に学ぶ栄養科学部や短期大学部食物栄養学科の学生に加え、教育・保育現場の専門職を目指す教育学部の学生も参加しました。このプログラムは、農業体験や加工・販売体験を通して農業関係者と共感し合いながら、食や農業への理解を深め、豊かな感性と自ら生きる力を養うことを目的としています。



講座の内容は、第1講ではとうもろこしの定植、玉ねぎの収穫、地場産カレー調理、いちご狩り、第2講ではとうもろこしの収穫、さつまいもの定植、味噌づくり、第3講ではじゃがいもの定植、さつまいも料理コンテスト、試食及び審査、第4講さつまいもの収穫、第5講では本学の学園祭「霜月祭」にてさつまいものすいとんとさつまいもの販売、第6講ではじゃがいもの収穫、じゃがいものすいとん調理でした。そして、販売活動として11月30日に博多じょうもんさん市場「天神市」へ出店し、第6講で収穫したじゃがいも販

売及び試食品調理を行いました。

各講座での農業等が私たちの食を支える一次産業の重要性和さまざまな課題について考える契機となりました。また、農業体験だけでなく郷土料理の調理や販売から加工・販売されるまでの一連の流れを学び、地産地消による安心・安全な食の提供の大切さも肌で感じる事ができました。



レポート 栄養科学部3年 山道 奈緒
(学事課 広報アシスタント)

Q-conference 2014 「同じ大学なのにWhy not join us?」

平成26年12月6日、「Q-conference 2014」が崇城大学にて開催されました。

このイベントは、大学教育改善のあり方や各大学の取り組みや挑戦を学び合っていくQ-Jinks(※)の企画で、本学からはスチューデントジョブ(SJ)運営スタッフフリーダーの淵上裕子さん(流通科学部3年生)、サプリーダーの年森萌子さん(流通科学部3年生)が「ポスターセッション」に参加し



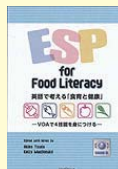
教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、
() 内は出版社、発行年月



「認定 NST ガイドブック2014」
改訂第4版

中野 修治 栄養科学部・教授 共著
小野 美咲 栄養科学部・助手
(メディカルレビュー社 平成26年7月)



「英語で考える『食育と健康』
—VOAで4技能を身に付ける—」

津田 晶子 食物栄養学科・准教授 編著
(英宝社 平成26年11月)



「井上寛七画集
四国八十八寺マンダラ図」

井上 寛七 教育学部・教授 単著
(秀巧社印刷 平成26年12月)



「戦後日本の食料・農業・農村 第3巻(Ⅱ)
高度経済成長期Ⅱ—農業構造の変貌—」

甲斐 諭 流通科学部・教授 編著
(一般財団法人農林統計協会 平成26年12月)

学生の表彰

城南区長感謝状

平成26年12月15日、城南区役所において城南区長感謝状贈呈式が行われ、流通科学部の緒方菜生さん(3年生)と渡邊紗江さん(2年生)が城南区長から感謝状を贈呈されました。この感謝状は、区政の推進に貢献したと認められる福岡市城南区民等に対し城南区長から贈られるもので、10月19日に城南学園通りで開催されたふれあい城南フェスティバル「みんなDEばれーど2014-WA!」の企画・運営に尽力した学生の活動が、地域と大学が共生するまちづくりに対する多大な功績として認められたものです。感謝状贈呈式終了後は城南区長との懇談会が行われ、吉村区長から労いと今後の活躍に向けた期待が述べられました。



渡邊紗江さん(左)と緒方菜生さん(右)

教員の表彰

The 10th Asian Business Research Conference ベスト・ペーパー賞を授賞



朴 晟材 准教授

平成26年10月、朴晟材准教授（流通科学部）が、The 10th Asian Business Research Conference（第10回アジアビジネス研究学会）においてベスト・ペーパー賞を受賞しました。今大会はWorld Business Institute AustraliaとAmerican Research and Publicationsの共催により、バンコクで開催され、朴准教授はマクロおよびマイクロデータ分析の結果を用いた韓国食品産業の企業戦略について研究発表し、一次審査を通過した18カ国48編の研究発表の中で経営学（Management）

部門での受賞となりました。

一般社団法人全国栄養士 養成施設協会理事長表彰



小田 隆弘 教授

平成26年11月、小田隆弘教授（短期大学部食物栄養学科）が、一般社団法人全国栄養士養成施設協会の会長顕彰を受賞しました。この表彰は、多年に亘り、栄養士・管理栄養士の養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に對し贈られるものです。



寺澤 洋子 教授

この表彰は、永年に亘り、地域住民の健康増進及び疾病予防等の公衆衛生の向上のために献身的活動を続けた功績に對し贈られるものです。

（一般社団法人全日本ピアノ指導者協会）提携コンクール（第16回大分県民芸術文化祭参加行事）が開催され、大庭美奈助手（教育学部）が出場し、大学一般コースにおいて、第3位を受賞しました。

公益財団法人 福岡県学校給食会理事長表彰



松隈 紀生 教授

平成26年11月、松隈紀生教授（短期大学部食物栄養学科）が、公益財団法人福岡県学校給食会理事長表彰を受賞しました。この表彰は、長年にわたり、学校給食の指導や普及振興に精励され、福岡県の学校給食における普及充実並びに発展に寄与された功績に對し贈られるものです。

平成26年度福岡市 公衆衛生功労者市長感謝状

平成26年12月3日、平成26年度福岡市保健衛生大会において、寺澤洋子教授（短



大庭 美奈 助手

平成26年11月8日から9日にかけて、中津文化会館大ホールにおいて、第11回 中津 And die Musik ピアノコンクール―ピティナ提携コンクール―大学・一般コース第3位受賞

外部資金の受入れ状況

（平成26年6月～12月受入分）

共同研究

【研究者】 原 孝之（栄養科学部・教授）
【研究課題名】 細胞膜非破壊甘草細胞の食品及び健康食品への応用化に関する研究
【企業名等】 株式会社新日本医薬
【共同研究者】 竹嶋美夏子（栄養科学部・助教）
脇本 麗（栄養科学部・助手）
【研究期間】 平成26年6月4日～平成28年2月28日
【金額】 1,000,000円

受託研究

【研究者】 中野 修治（栄養科学部・教授）
【研究課題名】 大麦甘酒摂取による血糖変動に関する研究
【企業名等】 株式会社篠崎
【共同研究者】 小野 美咲（栄養科学部・助手）
【研究期間】 平成26年8月4日～平成27年3月31日
【金額】 1,284,000円

【研究者】 甲斐 諭（流通科学研究所・所長）
【研究課題名】 菓子文化の向上や地域活性化への貢献を模索する株式会社ひよ子
【企業名等】 株式会社ひよ子
【研究期間】 平成26年10月1日～平成27年9月30日
【金額】 1,000,000円

【研究者】 甲斐 諭（流通科学研究所・所長）
【研究課題名】 筑前町住民の食事と健康の関連調査および黒大豆（クロダマル）を用いた商品開発に関する総合的研究
【企業名等】 筑前町
【研究期間】 平成26年9月11日～平成27年3月31日
【金額】 1,000,000円

研究寄付金

【研究者】 原 孝之（栄養科学部・教授）
【企業名等】 株式会社新日本医薬
【金額】 500,000円

【研究者】 内山 文昭（栄養科学研究科・教授）
【企業名等】 株式会社ヤマノ
【金額】 600,000円

研究助成金

【研究者】 小野 美咲（栄養科学部・助手）
【研究課題名】 大豆イソフラボンの乳癌細胞に対する抗癌作用機序解析
【企業名等】 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
【金額】 100,000円（奨励賞）

【研究者】 熊原 秀晃（栄養科学部・講師）
【研究課題名】 若年成人スポーツ競技者のピリオダイゼーションにおける身体活動の変動と食事摂取状況
【企業名等】 やずや食と健康研究所
【共同研究者】 大和 孝子（栄養科学部・准教授）
【金額】 500,000円

【研究者】 安武健一郎（栄養科学部・准教授）
【研究課題名】 幼児の随時尿による食塩排泄量と個体間・個体内および季節変動
【企業名等】 やずや食と健康研究所
【共同研究者】 永渕 美香子（短期大学部幼児保育学科・講師）
梶山 倫末（栄養科学部・常勤助手）
【金額】 1,000,000円

【研究者】 中野 修治（栄養クリニック・院長）
【研究課題名】 福岡県食の安全・地産地消対策関係事業費補助金
【企業名等】 福岡県
【金額】 107,000円

【研究者】 田村 孝洋（教育学部・助教）
【研究課題名】 ウェアラブル端末の加速度センサ・無線通信機能を活用したランニング測定と健康管理システムの構築に関する研究
【企業名等】 公益財団法人緒方記念科学振興財団
【金額】 500,000円